

第33期2014-2016年幹事会議事録

第 1 回幹事会準備会 議事録

日時：2014 年1 月26 日（日） 17:00～18:00

場所：立教大学池袋キャンパス12 号館2 階会議室

出席：阿部彩、阿部誠、居神、禹、埋橋、遠藤、熊沢、所、平岡、藤原、山田（名）、
田中

欠席：岩田、大沢、武川、宮本、森

1. 次期代表幹事の選出

選出幹事の互選により、次期代表幹事として、平岡幹事を選出した。

2. 次期幹事会の課題について

学会誌編集、国際交流等、次期幹事会の課題について意見交換をおこなった。

第 2 回幹事会準備会 議事録

日時：2014 年4 月12 日（土） 14:00～17:00

場所：明治大学駿河台キャンパス グローバルフロント404G 教室

出席：阿部彩、阿部誠、居神、岩田、禹、埋橋、遠藤、熊沢、所、平岡、藤原、森、山
田

欠席：大沢、武川、宮本

1. 次期幹事の確認（推薦幹事の決定）

以下の選出幹事について確認するとともに、以下の推薦幹事を選出した。

<選出幹事>

阿部彩、阿部誠、居神浩、岩田正美、禹宗杭、埋橋孝文、遠藤公嗣、大沢真理、熊沢透、武川正吾、所道彦、平岡公一、藤原千沙、宮本太郎、森周子、山田和代、

<推薦幹事>

垣田裕介、首藤若菜、沈 潔、鈴木玲、平木真朗、松本伊智朗、山田篤裕、横田伸子

*所属については、記載を省略

2. 次期幹事会体制について

各委員会委員長・副委員長等を選出し、以下の幹事会体制をとることが承認された。

(「2014-2016 年 期幹事会体制」を参照)

3. 2014 年度活動方針案について

素案を一部修正の上、活動方針案を承認した。メール会議で文言を確認の上、総会に提案することとした。

活動方針に関連して、次の議論が行われた。

(1) 若手研究者向けのワークショップの具体案(英語の論文の書き方、学会史入門、科研費の取り方など)がいくつか出され、今後の検討課題とされた。

(2) 英語論文の発表を増やすための提案(英文論文投稿の促進、英文のweb 版年報刊行等)があり、今後の検討課題とした。

(3) 中国等の諸国の研究者との交流の推進に関して、学会間の交流以外に個別の研究者との交流、留学生支援等の多様な方法を含めて検討を進めることとした。

4. 2014 年度学会予算案について

過去三年間の予算・決算の状況を検討の上、2013 年度予算案を踏襲しつつ、若干の修正を加えることとし、予算案の作成を代表幹事・事務局に一任し、メール会議で確認の上、総会に提案することとした。

なお、予算に関連して以下の議論が行われた。

(1) 繰越金が増加傾向にあることから、目的を明確にした積立等も検討すべきではないかとの意見が出された。

(2) 選挙管理委員、学会誌編集委員・査読者の負担軽減策について検討を進めることとした。

(3) 学会賞選考、学会誌での書評、および書評分科会の対象となる著作の選定をより適切に行うために、Web の活用により、学会員に自らの著書を報告してもらう仕組みを検討することとした。

17. 2014-2016 年 期 幹 事 会 報 告

第 1 回 幹 事 会 議 事 録

日 時：2014 年 7 月 6 日（日）13:30～18:00

場 所：明治大学駿河台キャンパス、研究棟4 階第3 会議室

出 席：阿部（彩）、阿部（誠）、居神、禹、遠藤、熊沢、所、平岡、藤原、森、沈、鈴木、松本、山田（篤）

欠 席：岩田、武川、山田（和）、首藤、平木、横田、大沢、垣田、埋橋、宮本、田中

1. 社会政策関連学会協議会協議員・参与協議員、経済学会連合評議員の選出

以下の協議員、評議員を選出した。

社会政策関連学会協議会協議員

禹宗杭（埼玉大学）、阿部誠（大分大学）

社会政策関連学会協議会参与協議員

大沢真理（東京大学）、武川正吾（東京大学）

経済学会連合評議員

玉井金五（愛知学院大学）、遠藤公嗣（明治大学）

2. 各委員会の委員の選出について

各委員会の委員を選出した（各種委員会委員を参照）。3. 平岡代表幹事より、今年度の活動方針、および検討を要する取り組み事項についての報告があり、若手研究者のためのワークショップ（仮称）等、大会での新たな企画について、2015年春の大会からの実施を検討することとした。

また、部会活動への支援に関わる課題の整理と支援方策の検討について、課題を整理した上で、2014年秋の幹事会にて検討することとした。

次に、諸国との交流の推進に向けての取り組みの現状が報告された。最後に、学術会議、科研費制度等の動向把握と、情報提供・提言等について引き続き検討していくとされた。

4. 秋季大会企画委員会

居神委員長より、大会報告およびタイムスケジュールを含む大会プログラムについて詳細な説明があり、了承された。

また、自由論題26件、分科会7件の応募について審議し、全件の採択が承認された。

5. 春季大会実行委員会

平岡代表幹事より、2015年の春季大会（第130回大会）について、お茶の水女子大学を中心に実行委員会を組織し、専修大学の協力のもとで開催することとなったことが報告された。日程は、まだ最終決定ではないが、6月27日（土）、28日（日）を第一候補としている。

6. 学会誌編集委員会

阿部彩委員長より、『社会政策』の号別進捗状況とともに、小特集の企画への応募が増加しており、今後は選考が行われることもあるなどの点が報告された。

7. 広報委員会

藤原委員長より、学会サイトの更新の状況等について報告があった。

前期から引き継いだ学会のロゴの制定については、今年度中に決めることとし、広報委員会が手順等を検討することとした。

また、中四国部会から依頼があった会員宛で一斉メールによる研究会報告者募集（全会員宛）についてはこれを了承するとともに、部会の研究会の案内等については、従来どおり研究会情報ブログを利用して行うことを確認した。

また、会員の任意加入によるメイリングリストの運営方法の見直し（外部委託等）について今後検討していくことが確認された。

8. 国際交流委員会

沈委員長より、委員会の引き継ぎ内容と今期の課題についての報告があり、今年度の活動方針に沿って国際交流を推進することを了承した。

また、中国社会科学政策専門委員会との交流の経緯についての報告があり、中国の学会との交流についてのこれまでの幹事会決定等と合わせて検討した結果、当面、同委員会を通して、現在中断されている中国の学会との交流の回復に向けて努力していくことが確認された。

また、同委員会が8月に開催する社会科学国際論壇に、武川正吾会員と沈委員長が招かれ参加することが報告され、これを了承した。

9. 学会賞選考委員の委嘱と選考プロセスの見直しについて

平岡代表幹事より、選考プロセスをめぐる問題の所在（選考対象作品のリスト作成の困難性、査読委員の少なさ、スケジュールがタイトであること）について説明があり、選考プロセス改善の方向性として、委員の増員、学会賞表彰の秋季大会時への移行、自薦・他薦方式の改善などが提案され、委員の7名への増員についてはこれを承認するとともに、今後さらにこの提案について検討していくこととなった。

委員の人選については、代表幹事が、前委員長と協議した上で、幹事会メイリングリストに原案を提示することとした。

10. 学会財政の現状と、会計方式の見直しについて

平岡代表幹事より、学会財政が黒字基調で推移していることが報告された。そして、学会員への還元として、旅費の支給率引上げ等の提案がなされ、今後議論されることとなった。

また、会計方式の見直しの可能性についても話し合わせ、今後は、他の学会の会計の現状などについて情報収集をした上で検討していくこととなった。

11. 入会申込者について

6 名の入会希望者について審議を行い、入会を了承した。

NL81 号

7. 2014-2016 年期幹事会報告

第 2 回幹事会・議事録

日時：2014 年10 月10 日（金）14:00～17:20

場所：岡山大学文法経2 号館5 階経済学部会議室

出席：居神、遠藤、大沢、熊沢、鈴木、所、平岡、藤原、森

欠席：阿部（彩）、阿部（誠）、岩田、禹、埋橋、垣田、首藤、武川、田中、沈、平木、松本、宮本、山田（篤）、山田（和）、横田

1. 秋季大会企画委員会

居神委員長より、今後の秋季大会の大まかなスケジュールについて報告された。また、今回の秋季大会のテーマ別分科会第5（ジェンダー部会）のセッションが「国際交流委員会との共催」であることが大会プログラムおよび学会ホームページに記載されていなかったことから、大会終了後に記載を追加することが承認された。あわせて、今後、共催企画の場合は幹事会で企画委員会にその旨を正式に伝えるように定例化することとされた。

2. 春季大会企画委員会

所委員長より、委員の役割分担について報告された。また、2015 年春季大会の共通論

題の企画と時間配分、報告の募集スケジュール、若手研究者のための企画に関して意見交換を行った。

3. 春季大会事務局

平岡代表幹事より、2015 年春季大会が2015 年6 月27・28日にお茶の水女子大学（27 日・自由論題と分科会）と専修大学（28 日・共通論題）の共催で開催予定であることが報告された。

4. 広報委員会

藤原委員長より、メーリングリストの整理と管理に関する現状説明と提案（地方部会と専門部会の所属確認・所属希望を会員名簿作成と同時期に実施）があり、次回の名簿作成時に実施を検討することとなった。

幹事会メーリングリストについては、来年度以降、幹事会メンバーが作成・管理することとし、SSSP メーリングリストについては現行を維持することとした。部会活動の活性化のための情報支援として学会ホームページに部会のページを設けるとともに、部会活動情報を会員宛一斉メールで配信できる条件を検討することとした。

学会ロゴの作成について議論され、当面は海外との連絡に利用するためのレターヘッドの作成を、国際交流委員会とも相談しながら検討することとなった。

5. 国際交流委員会

鈴木副委員長より、2015 年度春季大会英語セッションの進め方について提案があり、ESPANET からの応募者と、本学会会員の応募者とでセッションを構成することとされた。

また、ESPANET、LERA、韓国社会政策学会、中国社会政策専門委員会との交流の状況について報告された。

6. 学会賞選考委員会

委員が選出された。

・2015 年度春季大会まで

清水耕一（岡山大学）

宮坂順子（昭和女子大学）

横田伸子（山口大学） ― ・2016 年度春季大会まで

秋元美世（東洋大学）

小野塚知二（東京大学）

駒村康平（慶應義塾大学）

首藤若菜（立教大学）

また、候補作品のリストアップの方法の改善について議論された。

7. 英文学会名称の略称の使用について

平岡代表幹事より、新たな社会政策学会の英文略称がJASPS となったことに関して、類似するJASBS という略称をもつ学会（日本中小企業学会）の存在が会員から指摘されたことを受け、略称の使用に際しては混乱を招かないよう細心の注意を払っていくことが報告された。

8. 旅費規程の改正について

平岡代表幹事より、旅費の全額支給に向けた学会旅費規程の改定案が提出され、次回の幹事会での若干の文言の修正を経た上で来年度の春季大会時の総会に諮ることとなった。

9. 入会申込者について

6 名の入会希望者について審議を行い、入会を了承した。

第 3 回幹事会・議事録

日時：2014 年10 月11 日（土）12:30～13:30

場所：岡山大学文法経2 号館5 階経済学部会議室

出席：阿部（彩）、阿部（誠）、遠藤、大沢、武川、平岡、森、山田（和）、横田
欠席：居神、岩田、禹、埋橋、垣田、熊沢、首藤、鈴木、田中、沈、所、平木、藤原、
松本、宮本、山田（篤）

1. 学会誌編集委員会

阿部彩委員長より、『社会政策』の号別進捗状況が報告された。また、査読専門委員制度のあり方、投稿本数の低迷傾向、研究レビューのあり方、編集委員の旅費負担に関する意見交換がなされた。

2. 社会政策関連学会協議会

阿部誠担当幹事より、今後の社会政策関連学会協議会主催シンポジウムの開催予定について報告された。

第 4 回幹事会・議事録

日時：2014 年10 月12 日（日）11:30～12:20

場所：岡山大学文法経2 号館5 階経済学部会議室

出席：阿部（誠）、埋橋、遠藤、所、平岡、森

欠席：阿部（彩）、居神、岩田、禹、大沢、垣田、熊沢、首藤、鈴木、武川、田中、
沈、平木、藤原、松本、宮本、山田（篤）、山田（和）、横田

1. 第133 回（2016 年度秋季）大会開催校について

埋橋幹事より、第133 回（2016 年度秋季）大会の開催校が同志社大学に内定したことについての挨拶があった。

2. 大会に際してのフルペーパーのホームページ掲載について

今大会において、事前のフルペーパーのホームページ掲載数が少なすぎるのではないかと会員から指摘されたことを受け、事前のフルペーパー提出のあり方について意見交換した。

NL82号

9. 2014-2016 年期幹事会報告

第 5 回幹事会 議事録

日 時：2015 年2 月22 日（日）13:00～17:30

場 所：立教大学池袋キャンパス12 号館第1・2 会議室

出 席：阿部（彩）、阿部（誠）、居神、禹、遠藤、垣田、熊沢、首藤、沈、鈴木、所、

平岡、平木、藤原、森、山田（篤）

欠席：岩田、埋橋、大沢、武川、田中、松本、宮本、山田（和）、横田

1. 春季大会企画委員会

所委員長より、2015年春季大会の応募状況、共通論題の準備状況、テーマ別分科会と自由論題の一覧について報告された。若手研究者のためのセッション等は、2015年春季大会では見送り、引き続き検討することとした。また、報告要領の文面について検討された。

2. 春季大会実行委員会

平岡代表幹事より、2015年春季大会の実行委員会の組織、業務委託、会場準備の状況等について報告があった。書籍販売の実施と総会の開催日について意見交換がなされた。

3. 秋季大会企画委員会

居神委員長より、2015年秋季大会の共通論題の案についての報告があった。4月中旬～下旬に共通論題のテーマを発表し、5月に自由論題とテーマ別分科会の報告者を募集するとされた。

4. 秋季大会実行委員会

平木委員長より、2015年秋季大会が西南学院大学にて2015年10月31日（共通論題）・11月1日（テーマ別分科会・自由論題）に開催されることが報告された。

5. 学会誌編集委員会

阿部彩委員長と山田副委員長より、学会誌刊行の進捗状況、研究レビューの掲載予定、視覚障害のある会員へのテキストデータの提供、転載許可の申請方法について報告された。また、実務者への原稿依頼のあり方、査読専門委員制度のあり方、投稿本数の低迷傾向、採択率の低さに関する意見交換がなされた。査読専門委員の任期が二年であり、必要に応じて交代することがあり得ることが確認された。

6. 広報委員会

藤原委員長より、学会ホームページにおいて部会の情報を掲載するコーナーを新規に作成することが報告された。

7. 国際交流委員会

鈴木副委員長より、2015 年度春季大会英語セッションのプログラム案、LERA 大会にて報告する会員2 名に対するregistration fee の助成、エスパネット報告者参加費助成制度の改定についての報告があり、了承された。

次に、沈委員長より、2015 年5 月の韓国社会政策学会での報告者について、応募者がいなかったことが報告され、適任者に依頼することが了承された。また、2015 年の秋季大会での日韓分科会の組織を雇用・社会保障の連携部会に打診することが了承された。また、韓国社会政策学会との国際交流協定を更新する方針が了承され、また改正案が承認された。海外との連絡に利用するためのレターヘッドの原案も提示された。

8. 学会賞選考委員会

首藤委員より、学会賞選考委員会の議論の進捗状況についての報告があった。代表幹事からリスト作成の負担を軽減するためのアプリケーション開発とその経費についての説明があり、了承された。また、学会賞の位置づけに関する問題提起もなされ、意見交換を行った。

9. 日本経済学会連合

遠藤担当幹事より、2015 年度から、日本経済学会連合のホームページにおいて過去の文献などが閲覧できるようになることが報告された。

10. 社会政策関連学会協議会

阿部誠担当幹事より、2015 年5 月に福井で開催される社会政策関連学会協議会シンポジウムについて報告された。

11. 部会活動補助と活動報告について

平岡代表幹事より、非定型労働部会が実施を予定している大学院生・常勤職に就いていない会員の遠隔地報告への経費一部補助についての案が紹介され、その実施が了承された。

12. 旅費規程の改正について

平岡代表幹事より、旅費の全額支給に向けた学会旅費規程の改定案が提出され、これを了承し、来年度の春季大会の総会に提案することとなった。

13. 学会の会計方式の見直しと2015年度予算編成について

平岡代表幹事より、学会の会計方式の見直し（積立金制度の導入）に関する提案がなされ、積立制度の目的等について、意見交換を行った。制度の具体案と2015年度予算編成の検討に向けて、幹事会メンバー数名によるワーキンググループが設置されることとなった。

14. 入会申込者と退会希望者について

9名の入会希望者について審議を行い、入会を了承した。また、3名の退会希望者の退会を了承した。

NL83号

6. 2014-2016 年期幹事会報告

第6 回幹事会 議事録

日時：2015 年4 月11 日（土）14:00～17:30

場所：立教大学池袋キャンパス太刀川記念館1 階 第1・第2 会議室

出席：阿部（彩）、阿部（誠）、居神、埋橋、遠藤、垣田、熊沢、首藤、鈴木、沈、所、平岡、平木、森、山田（篤）

欠席：岩田、禹、大沢、武川、藤原、松本、宮本、山田（和）、横田

1.春季大会企画委員会

所委員長より、2015 年春季大会の準備状況、大会プログラムの内容について報告された。大会ポスターの作成は、今回は見送ることが了承され、代わりに、A4 判のチラシの配布などが検討された。

2.春季大会実行委員会

平岡代表幹事より、2015 年春季大会の準備状況について報告があった。また、2016 年春季大会を明治大学で開催することが了承された。

3.秋季大会企画委員会

居神委員長、熊沢副委員長より、2015 年秋季大会の共通論題、書評分科会、会員へのアナウンスメントについての報告があった。大会ポスターの作成については、2015 年春季大会の状況を見て決定するとされた。

4.秋季大会実行委員会

平木委員長より、2015 年秋季大会の準備状況について報告があった。大会開催時の会

員の学内LAN の利用方法について確認するとされた。

5.学会誌編集委員会

阿部彩委員長と山田副委員長より、学会誌刊行の進捗状況、論文投稿および審査の状況について報告された。また、学会員以外への臨時的な査読委嘱について協議がなされ、例外的に委嘱を行うこと、およびその際の謝金を1万円程度に設定することなどが了承された。

6.国際交流委員会

沈委員長、鈴木副委員長より、日韓協定の修正、中国社会政策専門委員会年次大会への参加、海外からのゲスト招聘時の滞在費等に関する運用・算出基準、労働史研究者のネットワークづくりについての報告があり、了承された。

また、会員より、フランス在住の会員によるコラム執筆の提案がなされたことに関し、学会HPの「談話室」への掲載を検討することになった。

7.学会賞選考委員会

平岡代表幹事より、社会政策学会・学会員著作リスト作成のための著作物検索システムに関する説明があった。

8.諸学会との連携

遠藤担当幹事より、日本学術会議の経済学分野の「参照規準」問題関連企画の『経済学と経済教育の未来』が刊行されたことの報告と、その普及への協力要請があり、学会ニューズレターに、遠藤幹事が、その紹介記事を掲載することとした。

9.社会政策関連学会協議会

阿部誠担当幹事より、2015年5月に福井で開催される社会政策関連学会シンポジウムについて、研究会ブログに告知を出す予定であると報告された。

10.学会の会計方式の見直しと2015 年度予算編成について

平岡代表幹事より、学会の会計方式の見直し（積立金制度の導入）に関する提案がなされ、重点事業推進積立金に関する内規・了解事項の案、および、積立金を用いて当面実施する事業の案について意見交換を行った。積立金制度の導入とそのため内規・了解事項の案については、一部の字句を修正の上、基本的に了承され、次回幹事会でのさらなる検討を経て、2015 年6 月の総会にて諮ることとされた。また、当面実施する事業に関するプロジェクトチームを設置することとなった。

11.入会申込者と退会希望者について

3 名の入会希望者について審議を行い、入会を了承した。また、2 名の退会希望者の退会を了承した。

12.その他

森事務局長より、日本学術振興会からの育志賞受賞候補者の推薦依頼の文書が届いているとの報告があり、取り扱いを検討の結果、後日、幹事から候補者の推薦を募り、電子メールによる審議により推薦者を決定することとした。

NL84号

11. 2014-2016 年期幹事会報告

【第7回幹事会 議事録】

日時：2015年6月26日（金）14:00～18:30

場所：お茶の水女子大学本館103室

出席者：阿部（彩）、阿部（誠）、居神、岩田、遠藤、大沢、熊沢、鈴木、所、平岡、平木、藤原、森、横田

欠席者：禹、埋橋、垣田、首藤、沈、武川、松本、宮本、山田（篤）、山田（和）

1. 春季大会企画委員会

所委員長より、2015年春季大会の準備状況、大会プログラム、今後の検討課題について報告された。フルペーパーの期限までの提出を行っていない報告者への対応について話し合わせ、より明確に、期限までの提出のルールへの遵守を呼びかけていくことが確認された。

2. 春季大会実行委員会

平岡代表幹事より、2015 年春季大会の準備状況について報告があった。また、遠藤幹事より、明治大学での2016 年春季大会の準備状況について報告があり、開催日程・会場規模等についての実行委員会の方針を了承した。

3. 秋季大会企画委員会

熊沢副委員長より、2015 年秋季大会の報告応募状況、書評分科会の状況、共通論題の打ち合わせ、開催校との打ち合わせに関する報告があった。また、ひとりの会員が複数の分科会での報告を希望する場合の対応についての企画委員会の方針を了承した。

4. 秋季大会実行委員会

平木委員長より、2015 年秋季大会の準備状況について報告があった。

5. 学会誌編集委員会

阿部彩委員長より、学会誌刊行の進捗状況、論文投稿および審査の状況について報告された。また、今後、査読専門委員全員に継続の意思確認を行う予定であることが報告された。6. 国際交流委員会鈴木副委員長より、ESPAnet とLERA-JASPS Joint Sessionの参加費助成に関する報告があり、助成が承認された。また、今後のLERA との交流のあり方について話し合われた。

7. 広報委員会

藤原委員長より、大会のフルペーパー閲覧サイトの構築状況と、フルペーパーの電子化に関連する意見について報告があった。

8. 学会賞選考委員会

横田委員長より、学会賞の選考経過と結果、および選評の報告があり、これを了承した。また、平岡代表幹事より、学会賞選考委員会からの委員の委嘱方法についての要望が紹介され、また、社会政策学会賞表彰規程の改正案が提案された。審議の結果、この案は修正の上、了承され、6 月27 日の総会で提案されることとなった。

9. 学会の会計方式の見直しについて

総会に提案する「重点事業推進積立金に関する内規」案を再度確認するとともに、前回は承済みの「『重点事業推進積立金に関する内規』に関する了解事項」の字句の修正・追加を了承した。また、平岡代表幹事より、この積立金を用いて当面実施する事業の基本方針について、前回の提案の一部を修正した案が示され、これを基本的に了承するとともに、国際シンポジウムの実施に関するプロジェクトチームを設置することとした。

10. 2015 年度活動方針について

平岡代表幹事より、2015 年度活動方針案が提案され、これを一部修正の上、了承し、6月27日の総会に提案することとされた。

11. 2014 年度決算報告および2015 年度予算案について

平岡代表幹事より、2014 年度決算および2015 年度予算案について報告が行われ、これを了承し、6月27日の総会にて諮ることとされた。

12. 大会総会資料について

平岡代表幹事より、6月27日の2015 年度総会資料案について報告された。

13. 入会申込者について

15 名の入会希望者について審議を行い、入会を了承した。

【第8 回幹事会 議事録】

日時：2015 年6 月28 日（日）12:10～13:00

場所：専修大学1 号館ゼミ室41

出席者：大沢、熊沢、沈、鈴木、平岡、森

欠席者：阿部（彩）、阿部（誠）、居神、岩田、禹、埋橋、遠藤、垣田、首藤、武川、

所、平木、藤原、松本、宮本、山田（篤）、山田（和）、横田

1. 国際交流委員会

沈委員長より、国際交流アドバイザー（協力員）の設置についての報告があり、これを了承した。また、今後の中国社会学会社会政策専門委員会との交流のあり方について提議され、今後の国際交流に関する方針の作成について意見交換が行われた。

2. 大会参加費、懇親会費免除の取扱い

非会員の分科会報告者の大会参加費について、特に免除を行うことを希望する場合は、専門部会あるいはコーディネーターが費用を負担すること、および幹事会・国際交流委員会が承認した海外ゲストの懇親会費は国際交流関連費で負担することが確認され、今後、このルールを文書化することとされた。

3. 大会報告のフルペーパーについて

総会での会員からの意見を踏まえて、大会報告のフルペーパーの期限までの提出の徹底について、意見交換を行い、すみやかに改善策を検討し、実行に移すこととした。

NL85号

6. 2014-2016 年 期 幹 事 会 報 告

【第9 回 幹 事 会 議 事 録】

日 時 2015 年9 月12 日（土）14:00～18:30

場 所 立教大学12 号館第1・2 会議室

出 席：居神、禹、熊沢、首藤、鈴木、所、平岡、平木、森、山田（和）

欠 席：阿部（彩）、阿部（誠）、岩田、埋橋、遠藤、大沢、垣田、沈、武川、藤原、松

本、宮本、山田（篤）、横田

1. 春季大会実行委員会

齋藤委員長より、2015 年春季大会（第130 回大会）について報告があった。

2. 春季大会企画委員会

所委員長より、2015 年春季大会の総括、2016 年春季大会の準備状況について報告された。フルペーパーの期限までの提出を行わない報告者への対応について話し合わせ、より明確に、期限までの提出のルールへの遵守を呼びかけていくことがあらためて確認された。大会報告の英文要旨提出を今後も義務づける必要があるかどうかについて、意見交換を行い、引き続き検討を行うこととした。また、フルペーパー提出の意義に関する学会の公式見解を会員に示す必要があるとの意見があり、その作成について検討することとした。

3. 秋季大会実行委員会

平木委員長より、2015 年秋季大会の準備状況について報告があった。

4. 秋季大会企画委員会

居神委員長より、2015 年秋季大会の準備状況について報告があった。また、宿泊関係や国際交流関係について話し合われた。

5. 学会誌編集委員会

阿部（彩）委員長より、学会誌刊行の進捗状況、論文投稿・審査の状況、および、今回から査読専門委員の再任についての意思確認を行い、54 名に、引き続き委員を委嘱（任期は2017 年春季大会まで）したことについて書面による報告があった。

6. 国際交流委員会

鈴木副委員長より、2016 年春季大会に LERA から研究者が派遣され、国際交流委員会が企画する分科会が開かれることが報告された。その際の旅費は、本来、LERA 側が持つ

べきものであるが、その原則を再確認の上、今回の派遣決定についてのLERA側の事情から、今回に限り、旅費（宿泊費を含む）を本学会の国際交流関連費から支出することが了承された。

続いて、ESPANET大会報告者への参加費助成制度と大会報告者への参加費助成を一本化する「ESPANET・LERA報告者参加費助成制度」案が提案され、これを了承した。

また、今後の国際分科会の開催方法について話し合わせ、引き続き検討するとされた。

さらに、社会政策学会と中国社会学会社会政策専門委員会の今後の国際交流についての両学会の代表の協議の議事録の紹介と、前回幹事会で承認された国際交流アドバイザー制度（協力員）に基づいて、金成垣会員を国際交流アドバイザーに委嘱した旨の報告があった。

7. 学会賞選考委員会委員の委嘱について

平岡代表幹事より、2014年度委員7名のうち3名が任期満了し、新たな候補者には打診・内諾済みであることと、残りの4名（任期は2016年度春季大会まで）のうち1名が辞職したことが報告され、その後任委員の任期は残任期間のみでなく2年間となることが確認された。さらに、すでに内諾を得ている岩永理恵会員、榎一江会員、廣澤孝之会員への委員の委嘱を了承し、残り1名の委員の候補を決定した。

8. 国際交流に関わる分科会の運営について

平岡代表幹事より、学会大会での会合のカテゴリーとして、「共通論題」「テーマ別分科会」「自由論題」「書評分科会」のほかに、「国際分科会」「特別分科会」を設けること、「国際分科会」「特別分科会」についてはフルペーパーの提出、発表時間等について「テーマ別分科会」「自由論題」と同一のルールを必ずしも適用しないこと、「国際分科会」等について国際交流委員会等が配付資料の準備に責任をもつことなどの内容の申し合わせ案が提案され、一部の文言を修正の上、これを了承した。なお、「国際分科会」については、大会と別の日に行うのが望ましいとの意見もあり、国際分科会のあり方については、今後も継続的に検討することとした。

9. 大会運営ガイドライン（仮称）の作成について

平岡代表幹事より、大会の企画・運営に関わる諸原則や実務上の取り決めについて一括して明記した規程、文書などがこれまで存在しなかったことから、それらを文書化し、随時改定することで大会企画・運営の円滑化を図るための大会運営ガイドライン（仮称）の作成が提起され、今後、その作成に向けて検討を進めることとした。

10. 2016 年度春季大会における教育セッション（仮称）の企画について

平岡代表幹事より、2016 年度春季大会における教育セッションの企画・実施に関する案が提示され、実施時期や参加対象者などについて意見交換がなされた。

11. 積立金を活用して行う事業について

平岡代表幹事より、重点事業推進積立金制度を活用した事業（国際シンポジウム）の案が提示され、意見交換がなされた。2016 年の秋季大会の共通論題と一体化して実施することは困難であることを確認し、内容と実施時期について、今後も継続的に検討していくこととされた。

12. 名誉会員の逝去について

名誉会員の逝去に関する会員への報告については、従来通り、原則としてニューズレター掲載のみとすることが確認された。

13. 入会申込者について

4 名の入会希望者について審議を行い、入会を了承した。

8. 2014-2016 年 期 幹 事 会 報 告

【第10回幹事会 議事録】

日時：2015年10月30日(金)14:00～17:50

場所：西南学院大学2号館7階中会議室(3)

出席：阿部(誠)、居神、禹、遠藤、大沢、垣田、熊沢、沈、鈴木、平岡、平木、藤原、森

欠席：阿部(彩)、岩田、埋橋、首藤、武川、所、松本、宮本、山田(篤)、山田(和)、横田

議案

1. 秋季大会実行委員会

平木委員長より、2015年秋季大会(第131回大会)について報告があった。

2. 秋季大会企画委員会

居神委員長より、2015年秋季大会の状況について報告された。フルペーパーの提出状況が報告され、期限までの提出のルールへの遵守を引き続き呼びかけていくことがあらためて確認された。

また、テーマ別分科会のコーディネーターから提出された趣旨説明のためのペーパー(電子ファイル)の取り扱いと、書評分科会に出席できなくなった報告者からの「代読」依頼についても話し合われた。前者については、提出を義務づけないが、提出された場合はフルペーパーとともにホームページに掲載することを事前にアナウンスするとした。後者については、「代読」による報告の成立を認めず、著者リプライにおいて書評の論点に触れることとした今回の取り扱いを了承し、合わせて、分科会・自由論題においても、報告者自身が欠席している場合の「代読」による報告の成立は認めないことを確認した。

さらに、フルペーパーにおける研究倫理上の配慮についても話し合われ、今後は、フルペーパー提出時と、アップされたペーパーの報告者によるチェック時に、調査対象者の匿

名化の確認等について報告者に明確に注意を促すこととされた。

3. 春季大会実行委員会

遠藤委員長より、2016 年春季大会(第132 回大会)の準備状況について報告があった。開催時期について、12 月初旬をめどに公表することとし、その後にやむを得ない事情により会場使用に困難が生じた場合には、幹事会の責任において対応することを確認した。

4. 広報委員会

藤原委員長より、非会員のフルペーパー提出義務の周知の必要性和、専門部会・地方部会の広報支援についての報告があった。後者については、学会員名簿の更新時に部会所属を確認する委員提案が紹介され、今後、事務局が具体案を作成して2016 年の学会員名簿作成までに審議することとなった。

5. 国際交流委員会

沈委員長と鈴木副委員長より、2016 年春季大会で開催予定のLERA 交流セッションと、中国社会科学政策専門委員会との交流セッションについて報告された。また、2016 年の韓国社会科学政策学会大会報告者募集についても従来どおり行うこととし、2016 年秋季大会での韓国社会科学政策学会との交流セッションについては、従来通り、専門部会と国際交流委員会の共催により行うこととした。6. 日本経済学会連合遠藤委員長より、ジャーナル電子化に関するアンケート集計結果と、2015 年9 月に開催されたアカデミック・フォーラムについての報告があった。

7. 社会政策関連学会協議会

同協議会代表の阿部誠幹事より、今後開催が予定される研究倫理に関する研修会について報告があった。

8. 学会賞選考委員会委員の委嘱について

枡田大知彦氏に2015 年10 月からの委員を委嘱することを了承した。

9. 大会運営ガイドライン(仮称)の作成について

平岡代表幹事より前回の幹事会にて提起された大会運営ガイドライン(仮称)の作成について議論され、次回の幹事会にてあらためて検討されることとなった。

10. 2016 年度春季大会における教育セッション(仮称)の企画について

平岡代表幹事より、2016 年度大会の1 日目または2 日目の昼休みに、論文投稿のルールと技法(仮)というテーマで、大会参加者(特に若手研究者)向けの教育セッションの開催が提起され、次回幹事会にて決定するとされた。

11. 積立金を活用して行う事業について

平岡代表幹事より、積立金を活用して行う事業についてのこれまでの検討の経緯が報告され、国際シンポジウムのほか、各種記念事業、学会員の研究成果の海外への発信のための出版事業、国際交流事業、学会誌の刊行、その他を実施する可能性を含めて、幹事会にワーキンググループを設置し、事業の計画を検討するとされた。

12. 2017 年以降の春季大会について

平岡代表幹事より、2017 年以降の春季大会について、首都圏の大学のスケジュール確保の困難性なども踏まえながら、3 月・7~8 月などの開催可能性も視野に入れながら検討していくことが提起され、議論された。

13. 名誉会員の推挙方法について

名誉会員の推挙方法について意見交換を行い、引き続き検討することとした。

14. 学会賞の副賞について

平岡代表幹事より、学会賞の副賞について、これまでの万年筆に替えて図書カードとする案が提示され、了承された。

15. 選挙管理委員会

亀山委員長より、学会役員選挙の結果についての報告があった。

16. 入会申込者について：3名

3名の入会希望者について審議を行い、入会を了承した。

【第11回幹事会 議事録】

日時：2015年10月31日(土)12:40～13:40

場所：西南学院大学1号館707会議室

出席：居神、禹、大沢、垣田、鈴木、所、平岡、藤原、森

欠席：阿部(彩)、阿部(誠)、岩田、埋橋、遠藤、熊沢、首武川、沈、平木、松本、宮本、山田(篤)、山田(和)、横田

1. 春季大会企画委員会

所委員長より、2016年春季大会の準備状況について報告があった。申込時の英文アブストラクトの要・不要について議論され、英文ホームページのコンテンツの内容と合わせてひきつづき検討するとされた。また、フルペーパーのファイル未提出の場合や当日持ち込み資料などの取り扱いについて採択通知での明記が必要とされた。

また、春季・秋季大会の共通ガイドライン作成についても議論され、次回の幹事会にて原案を提示するとされた。

NL87号

7. 2014-2016 年 期幹事会報告

【第12 回幹事会 議事録】

日 時： 2016 年2 月27 日(土)13:30～17:15

場 所： 立教大学12 号館2 階会議室

出 席： 阿部(彩)、居神、禹、埋橋、遠藤、熊沢、首藤、沈、鈴木、武川、所、平岡、平木、藤原、森、山田(篤)

欠 席： 阿部(誠)、岩田、大沢、垣田、松本、宮本、山田(和)、横田

議案

1. 春季大会実行委員会

遠藤委員長より、2016 年春季大会(第132 回大会)の準備状況について報告があった。

2. 春季大会企画委員会

所委員長より、2016 年春季大会の状況について報告された。一般公開が望ましいと幹事会が承認した場合に共通論題のみ参加の非会員の参加費を低額に設定できることを再確認し、今回の大会について、非会員の共通論題のみ参加費を500 円に設定することが了承された。

3. 秋季大会企画委員会

居神委員長より、2016 年秋季大会の状況について報告された。

4. 秋季大会実行委員会

埋橋委員長より、2016 年秋季大会(第133 回大会)の準備状況について報告があった。また、平木委員長より、2015 年秋季大会(第131 回大会)についての開催校報告があった。

5. 学会誌編集委員会

阿部委員長より、小特集の原稿取り下げについての報告があり、この件に関わる委員長と代表幹事の対応を了承した。

また、委員長と山田副委員長より、学会誌刊行の進捗状況と査読専門委員の活用について報告された。さらに、投稿規程の改定と執筆要領の修正が提起され、承認された。

6. 国際交流委員会

沈委員長より、2016 年春季大会国際交流分科会の企画2016 年秋季大会の日韓交流分科会の企画、2016 年韓国社会政策学会大会の報告者派遣、2016 年中国社会政策専門委員会学術大会の報告者派遣について報告された。

7. 日本経済学会連合

遠藤幹事(同学会連合評議員)より、学会ホームページから日本経済学会連合ホームページへのリンクに関する依頼があった。

8. 社会政策関連学会協議会

武川幹事(同協議会参与協議員)より、5月14日に福島にて開催されるシンポジウムの紹介があった。

9. 積立金を活用して行う事業について

平岡代表幹事より、積立金を活用して行う事業についてのワーキンググループ・メンバーからの提案・意見が報告され、引き続き協議を重ねた上で、事業の計画についての報告をまとめることとされた。

10. 2017年以降の春季大会について

平岡代表幹事より、2017年春季大会(第134回大会)に関して、明星大学での開催について下平好博会員の了解が得られていることの報告があり、明星大学での開催を了承した。

なお、今後の大会開催について、首都圏の大学の会場確保、開催時期の早期確定の困難性なども踏まえながら、春季大会と秋季大会の入れ替え(春季大会の地方開催、秋季大会の首都圏での開催)や、春季大会の3月開催の可能性なども含めて検討していくこととなった。

11. 大会運営ガイドライン(仮称)の作成について

所春季大会企画委員長より、大会運営ガイドライン(仮称)の概要が示され、議論された。さらなる検討を経て、ガイドライン案を作成し、次期幹事会に引き継ぐこととなった。

12. 名誉会員の推挙について

平岡代表幹事より、名誉会員の要件に該当する会員のリストが示され、その中から5名が推挙された。また、最近退会した会員の中で要件に該当する方の有無を調査することとなった。さらに、名誉会員の選出基準についても議論された。

13. 入会申込書・会員登録内容変更届の記載内容改正について

森事務局長より、以前、広報委員会委員より出された、学会員名簿の更新時に専門部会・地方部会所属を確認するという提案について、各部会の世話人と責任者に意見を募った結果が報告され、議論された。今後も引き続き検討し、次期幹事会に引き継ぐことになった。

14. 休会の取扱いについて

平岡代表幹事より、従来取決めが存在しなかった会員の休会の取扱いについて、海外長期滞在などの特別な事情がない限りは認めず、会員から休会の申出があった際に、その都度幹事会で判断することが提起され、了承された。

15. 学会事務センターについて

平岡代表幹事より、今後の学会事務センターの業務のあり方について、事務センター側と話し合いの場を持つことが提起され、了承された。

16. 入会申込者について：10名

10名の入会希望者について審議を行い、入会を了承した。また、年度末の幹事会で入会を承認された場合の会費納入に関する規定を定めるべきとの提案があり、あらためて検討することとなった。

NL88号

12. 2014-2016 年 期 幹 事 会 報 告

第13 回 幹 事 会 議 事 録

日 時：2016 年 6 月 24 日（金）14:00～18:10

場 所：明治大学駿河台校地研究棟4 階第2 会議室

出席者：阿部（彩）、阿部（誠）、居神、岩田、埋橋、遠藤、大沢、垣田、熊沢、沈、鈴木、所、平岡、藤原、森、山田（篤）

欠席者：禹、首藤、武川、平木、松本、宮本、山田（和）、横田議案

1. 学会賞選考委員会

小野塚委員長より、学会賞の選考経過と結果、および選評の報告があり、これを了承した。また、学会賞における共著・編著の取り扱いについて意見交換がなされ、次期幹事会でも引き続き検討されることになった。

2. 春季大会実行委員会

遠藤委員長より、2016年春季大会の準備状況について報告があった。

3. 学会誌編集委員会

阿部彩委員長より、学会誌刊行の進捗状況、論文投稿および審査の状況について報告された。また、山田篤裕副委員長より、投稿規定の文言の訂正について提起がなされ、了承された。

4. 春季大会企画委員会

所委員長より、2016年春季大会の準備状況と大会プログラムについて報告された。また、報告辞退者への対応について話し合わせ、次期幹事会でも引き続き検討されることになった。

5. 秋季大会企画委員会

居神委員長より、2016年秋季大会のテーマ別分科会、自由論題報告、懸案事項に関する報告があった。

6. 秋季大会実行委員会

埋橋委員長より、2016年秋季大会の準備状況について報告があった。また、平岡代表

幹事より、2017 年秋季大会が愛知学院大学にて開催予定であるとの報告があった。

7. 広報委員会

藤原委員長より、2014-2016 期の活動に関する報告があった。また、128 回（2014 年春季）大会から132 回（2016 年春季）大会までの会員別フルペーパー提出状況の報告があり、未提出が続く会員への対応を検討した。

8. 国際交流委員会

沈委員長より、韓国社会学会および中国社会政策専門委員会大会の報告者派遣、2016 年秋季大会に予定されていた国際分科会の2017 年春季大会への延期に関する報告があった。

9. 日本経済学会連合

遠藤幹事より、予算と決算について承認したとの報告があった。

10. 社会政策関連学会協議会

阿部幹事より、研究倫理に関する第2 回学習会についての案内があった。

11. 2018 年以降の春季大会について

平岡代表幹事より、2018 年春季大会の開催校について交渉中であるとの報告があった。

12. 大会運営ガイドライン（仮称）の作成について

ガイドライン作成の進捗状況が確認され、次期幹事会で引き続き検討するとされた。

13. 積立金を活用した「重点事業」について平岡代表幹事より、重点事業について報告があり、内容について次期幹事会で引き続き検討するとされた。

14. 電子図書館終了への対応について

平岡代表幹事より、国立情報学研究所の電子図書館事業が今年度で終了することに伴い、学会誌の電子公開先を、科学技術振興機構のJ-STAGE に移行する手続きを進めていることについて報告があり、これを了承した。

15. 2016 年度活動方針について

遠藤次期代表幹事より、2016 年度活動方針案が提案され、これを了承し、6 月25 日の総会に提案することとされた。

16. 2015 年度決算報告および2016 年度予算案について

平岡代表幹事より2015 年度決算、遠藤次期代表幹事より2016 年度予算案について報告があり、これを了承し、6 月25日の総会に諮ることとされた。

17. 大会総会資料について

平岡代表幹事より、6 月25 日の2016 年度総会資料案について報告された。

18. 入会申込者について

32名の入会希望者について審議を行い、入会を了承した。

第14 回幹事会 議事録

日 時：2016 年6 月25 日（土）12:30～12:40

場 所：明治大学駿河台校地研究棟4 階 第2 会議室

出席者：埋橋、遠藤、鈴木、平岡、森

欠席者：阿部（彩）、阿部（誠）、居神、岩田、禹、大沢、垣田、熊沢、首藤、沈、武川、所、平木、藤原、松本、宮本、山田（篤）、山田（和）、横田

1.入会申込者について

1 名の入会希望者について審議を行い、入会を了承した。

